

2007年度1学期

多言語・多文化社会論入門 I

Group: オランウータン

Member: 川原 貞亮

- ・奥村 真以子
- ・中川 希望
- ・高田 歩
- ・Imee Salim
- ・曾田 茜
- ・高橋 麻衣

「日本は外国人労働者にとって住みやすいか？」

■ 授業前

■ まあまあ住みやすい

■ 授業後

■ 全く住みにくい！！

住みにくい要因

住みにくい度

High

・日本社会が持つ偏見、差別

・文化への無理解からくる差別
・外国人住民に対する関心の低さ

・外国人住民のidentityへの配慮
・国際理解教育
・外国人側からの意識の向上

・communityの人間関係
・外国人住民に対する言葉、
文化のサポート

・雇用労働環境の改善

個人の認識が
変わらなければ
社会も制度も変わらない

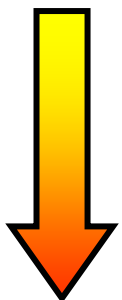
Low

社会、制度を変えるには？

- 認識を変えていく



- 日本人と外国人住民との交流を増やすべき



- 具体的な方法は・・・

“ Racial Harmony Day ”の設立

■ 国際文化交流の日


- ・外国人住民による自国の文化紹介

■ 期待される効果

- ・日本人と外国人住民の相互理解が得られる



個人の認識が深まり、
外国人住民への差別が減少する



以上です

ご静聴ありがとうございました